

カンキツ「天草」の果皮色向上に効果的な予措温度						
[要約] 予措温度は10℃～15℃が、着色も良好で、果実の減量も少なく、果皮障害の発生も少ない。予措温度が20℃以上では、果皮色のa値（赤色度）は高くなりにくい。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成8年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

「天草」収穫果実の品位向上を図るため、予措温度と果実形質、特に果皮色との関係を検討した。

予措温度と湿度

温度 常温，10℃，15℃，20℃，25℃

湿度 85%以上を目標に管理

[成果の内容・特徴]

- ①果皮色のa値は、予措温度25℃区では予措前より低くなる。a値の増加量は予措温度が高くなるほど小さくなる。a/b値もa値とほぼ同様の推移を示す。
- ②減量歩合は、予措温度が高いほど大きく、果皮障害は、へた枯れ、しなび果とも予措温度が高くなると発生が多くなる。
- ③糖度，酸含量には予措温度の影響はみられない。

[成果の活用面・留意点]

予措温度が高くなり過ぎないように留意する。

[具体的データ]

表1 「天草」の予措温度と果皮色の推移（赤道部）

予措 温度	a 値					a / b 値		
	12. 20	1. 10	1. 30	増減1 ^z	増減2 ^y	12. 20	1. 10	1. 30
常温	32. 5	37. 3	36. 9	4. 8	4. 4	0. 57	0. 70	0. 70
10℃	32. 8	39. 0	37. 5	6. 2	4. 7	0. 58	0. 63	0. 68
15℃	31. 8	37. 3	37. 0	5. 4	5. 2	0. 55	0. 64	0. 66
20℃	33. 3	36. 9	36. 5	3. 6	3. 2	0. 59	0. 64	0. 66
25℃	32. 5	24. 6	24. 9	-7. 8	-7. 6	0. 54	0. 38	0. 43

^z 1. 9測定値 - 12. 18測定値

^y 1. 30測定値 - 12. 18測定値

表2 「天草」の予措温度と果実減量，果実品質

予措 温度	減量歩合		果肉歩合	糖 度		酸含量		糖酸比
	1. 10 (%)	1. 30 (%)		平均	偏差 ^z	平均	偏差 ^z	
常温	3. 1	5. 4	82. 4	12. 2	0. 78	1. 04	0. 17	11. 9
10℃	1. 4	4. 3	84. 0	11. 2	0. 68	1. 10	0. 15	10. 5
15℃	2. 0	4. 1	83. 8	11. 3	0. 63	1. 16	0. 21	10. 0
20℃	4. 0	6. 6	83. 5	11. 4	0. 91	1. 02	0. 16	11. 5
25℃	6. 5	8. 5	83. 9	11. 7	1. 11	1. 09	0. 23	11. 1

^z 標準偏差

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成8年度（平成6年～10年）

研究担当者：濱口壽幸

発表論文等：平成8年度 長崎県果樹試験場業務報告。